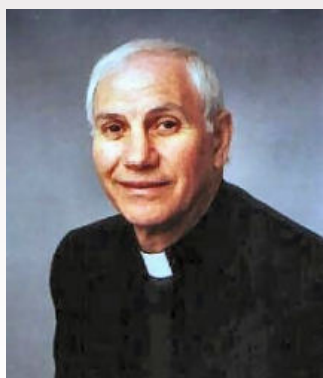


RCC FORUM

No. 40



(Dr. Jeff Halper)



(The Rev. Dr. Naim Ateek)

パレスチナと イスラエルの平和 — ガザと占領 —

ジェフ・ハーパー博士

ナイム・アティーク司祭

●日時: 2009年4月23日(木)

第5時限(16:50~18:20)

●会場: 関西学院大学上ヶ原キャンパス

B号館 301号教室

— 申込み不要・参加費無料・通訳者あり —

●講演内容

昨年、12月27日に始まったイスラエルのガザ攻撃は、世界の多くの人々に衝撃を与えました。1967年にイスラエルによるヨルダン川西岸とガザの占領が始まって以来、パレスチナ人は日常的に殺害、移動制限、住居破壊を経験してきました。パレスチナの人々は貧困と絶望の淵に立たされています。イスラエルとパレスチナの紛争は、歴史的に「土地の争奪」、植民地支配に伴う西欧列強諸国の覇権争いに起因しています。紛争がイスラム教とユダヤ教の争い、宗教戦争であるというのは正しい理解とはいえません。「占領」と「ガザ攻撃」の背景には何があるのか。「中東和平」に展望はあるのか。一人は占領下を生きのび、聖公会の司祭となり平和活動をしてきました。一人は米国から移住して来たユダヤ人の人類学者です。イスラエル人とパレスチナ人のお二人をお迎えして、イスラエルとパレスチナの平和について語っていただきます。どうぞご参加ください。